
DEMISE

ヒルトウス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

DEMISE

【Nコード】

N6892X

【作者名】

ヒルトウス

【あらすじ】

阿蘇山から始まった人類滅亡のカウントダウン。そのとき、人は何を思い、何を願うのか。そして襲ってきたものはなんなのか？SFアクション。

DAWN(前書き)

唐突すぎます(ヒルトウスの多作品を読めばわたくしがどんなに唐突なものを書いているかがわかります)。

D A W N

ある日のことだ。

阿蘇山を調査していた日本の地質学者たちは、とんでもないものを見てしまった。

そして次の日のこと。

世界中の主要都市が、謎の生命体に襲撃された。
人類は絶滅へのカウントダウンを始めた。

10月24日。

人々は目の前で、恐るべき惨劇を目にした。

突然、地球のものではない異形の生物が、大都市を襲撃し始めたのだ。

もちろん、SWATだろうが海兵隊だろうが自衛隊だろうが、総員出動した。

第三小隊を率いるジェームズ・アルノックスは、隊員たちに叫んだ。

「ワシントンだけは死守する！ いいな！」

アルノックスは、皆を激励した。

「ワシントンを守らねば、祖国はおろか、この世界が滅亡する。戦うのだ！ 負けるかもしれない。しかし、我々は最後まであきらめずに戦う！」

アルノックスの話が終わると、彼の昔からの友人であるアレックス・ホールドンは言った。

「アルノックス、今回の戦いが、俺の最後の戦闘だ。俺は死にたくないから、頼むぜ」

彼らは、NESCC（国家緊急攻撃部隊、Nation Emergency Strike Corps）という国家機関の一員である。NESCCは、軍や諜報機関と提携し、あらゆる戦闘時、国家の緊急時に出動する部隊である。

アルノックスは、ホールドンに言った。

「ホールドン、俺たちは誰一人死にたい奴なんていない。でももし死ぬなら、少しでも世界のために、人々のために、そして何よりこの星条旗を守るために、戦わねばならないんだ」

ホールドンは、ベルトに手をのばして、言った。

「わかってるさ、冗談だよ。俺だって戦う気満々だ。敵の正体もわからないが……戦わないとな」

「ああ」

その頃、ニューヨークでは、敵がエンパイア・ステート・ビルを破壊していた。

上半分がポツキリと折れ、倒壊し、一瞬で街を壊滅させた。

軍は、敵の名称を決定していった。

まず、地上に降り立って戦う敵を、“コンバタント”と名付けた。

次に、空を飛ぶ敵を、“ラプターズ”と名付けた。

いろんな形をしているが、猛獣の姿をしたものを、“ビースト”と名付け、巨大な敵を、“コロッサス”と名付けた。

また、空中に浮く母艦を、生物と認識して“デポシツプス”、液状の生命体を“リキッド”と名付けた。

NESCC第三小隊が出撃した。

アルノックスは、まず、マシンガンを取り出し、戦闘を走つていく。できるだけ、敵に丸見えにならないようにしながら。

ホールドンは、小銃を構え、みんなの後ろをガードした。そうして、とにかく敵に見つからないように、ワシントンに向かった。

2時間後、ついに着いた。

しかし、そこで彼らは、恐ろしい惨劇を目撃した。

ワシントンを守るはずが……。

スミソニアン博物館はすべて倒壊、航空宇宙のところはいろいろ盗まれていた。

そして、あるうことが……。

ホワイトハウスが、そこにはなかった。

ただあったのは、UH-60 ブラックホークの残骸だけだった。

D A W N (後書き)

結構頑張ったのですがね。

FALL (前書き)

唐突なのですが。

FALL

アルノックスは、迫りゆく異形の生命体たちから、逃げるしかなかった。

ワシントンは陥落した。

ホワイトハウスは完璧に破壊された。

大統領は核シェルターに逃げ込んだが、その破壊も時間の問題だろう。

人類は、負けたのだ。

「コロンビア特別区が破壊されたなら、もはやアメリカの勝ちはない。」

「アメリカが負ければ、ロシアなど諸国ががんばらなければいけない。」

しかし、その諸国もすでに陥落している。

我々は、未知の侵略者に、自分たちの世界を、奪われたのだ。

FALL (後書き)

負けて終わりって・・・(泣)
敵の正体もわかりませんでしたね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6892x/>

DEMISE

2011年10月20日00時13分発行